

# 関節リウマチ合併したAAアミロイドーシスの 治療に関する臨床研究 ~AAアミロイドーシス臨床研究会による~

<研究分担者> 吉崎 和幸 (大阪大学)

<共同研究者>

江口 勝美 (長崎大学)	黒田 毅 (新潟大学)
奥田 恭章 (道後温泉病院)	河野 裕夫 (山口大学)
寺井 千尋 (自治医科大学)	小関 由美 (東京女子医科大学)
中村 正 (熊本整形外科病院)	佐伯 修 (堺温心会病院)
養田 清次 (自治医科大学)	田村 裕昭 (動医協中央病院)
山田 俊幸 (自治医科大学)	土橋 浩章 (香川大学)
石原 得博 (虎の門病院)	中里 雅光 (宮崎大学)
高市 憲明 (大阪大学)	中野 正明 (新潟大学)
田中 敏郎 (大阪大学)	松原 司 (松原メイフラワー病院)
池田 修一 (信州大学)	森口 正人 (自治医科大学)
稲田 進一 (都立大塚病院)	山田 正仁 (金沢大学)
今井 裕一 (愛知医科大学)	山名 征三 (東広島記念病院)
工藤 幸司 (東北大学)	佐伯 行彦 (大阪南医療センター)
公文 義雄 (高知大学)	安東 由喜雄 (熊本大学)

<目的> AAアミロイドーシスを合併した関節リウマチ患者に対して、生物学的製剤、特にトシリズマブを用いた治療による効果を病理および生化学的所見を用いて評価する



登録患者背景  
(2011年12月現在)  
アクテムラ: T  
非アクテムラ: NT

人数: 34名 性別: 男性:女性=1:33 年齢: 56~83歳 (平均70歳)  
RA患病期間: 9~53年 (平均24年) 投与: T:NT=19:13名  
尿蛋白(治療前): T:NT = 0~460 : 0~187mg/dL  
血清クレアチニン値(治療前): T:NT = 0.34~4.49 : 0.48~1.67mg/dL  
シスタチンC値(治療前): T:NT = 0.72~4.09 : 1.09~2.05mg/L  
シスタチンCクレアチニン値(治療前): T:NT = 11.4~252 : 24.4~97.4min/mL

## 観察項目

- I. 病理組織検査 ① コンゴーレッド(β-シート)  
1) 染色法 -- ② 抗AA抗体 (AAアミロイド)  
2) 組織 -- 胃幽門部4ヶ所
- II. 胃生検組織中のアミロイド蛋白量  
生検組織中のアミロイド蛋白、抽出
- III. 生化学検査 (腎機能検査)
- IV. 尿検査
- V. 消化器症状
- VI. 血中IL-6

## 評価項目

- I. 病理学的評価 -- ① 染色面積比による半定量  
② 主観判定
- II. 組織内のアミロイド蛋白定量
- III. 腎機能
- IV. DAS28-尿蛋白、クレアチニン、シスタチンC、CCR

## <研究結果>

- I. 病理学的成績  
~胃幽門部のAAアミロイド沈着  
1) コンゴーレッド、抗AA抗体染色  
① 主観的評価: 多数の減少例  
② 染色面積評価: 著大な減少
- 2) BF-277染色  
主観的評価: 減少例多数
- II. 尿蛋白: 多数の減少例、陰性例も多数
- III. 腎機能評価  
1) クレアチニン値: 上昇例なく維持  
2) シスタチンC値: 上昇例なく維持  
3) クレアチニンクリアランス: 普変維持多数
- IV. SAA値: 著大なSAA値の低下および正常値化